

いなば泰子 ニュース



稲葉さんの初の質問

山陽新聞の
市議会記事

トップ見出しに

六月二十日、岡山市議会本会議で稲葉泰子議員は初の質問をしました。その答弁は、『山陽新聞』岡山市民版市議会記事のトップ見出しになりました。次は、初質問を終えた稲葉さんの感想です。

「清水の舞台から飛び降りる」気持ちでやるかと決心して壇に立ちました。ベテラン議員は質問に入る前に、市政に対する思いなどを話されますが、原稿以外は言つまいと決めていました。

野次も無く、皆さん私の方を見据えじつと聞かれているのがよくわかり、終わってほっとしました。しかし、準備していたのに、再質問と再々質問がうまくできなかったような気がします。当局の答弁を詳細なところまでよく聞き取れぬうちに、再質問の組み立てをするのは大変でしたが、自分なりにもとかく頑張ってやってみました。個人質問が終わった後、他の議員さんの私を見る目が少し変わったような気がするの私の独り善がりでしょうか。質問の中で障害者政策を一つとりあげました。同じ時間に市役所の一階



6月30日、本会議で質問する稲葉泰子市議員

ロビーで小規模作業所展示会があり、その皆さんの前のテレビに私が写って、自分たちの事を質問して下さっていると話題になったそうです。後で作業所連絡会の会長さんが、控室までお礼に来て下さいました。

次の日、『山陽新聞』市民版トップの見出しに、障害者支援費制度の質疑応答が大きく載りました。朝、廊下を歩いていたらベテラン議員から、「新聞のトップ見出しに出ていたね」と声をかけられました。「二期、議員をしているが一回もトップに出してもらったことがない」ということでした。

質問を準備するために、多くの方に協力していただきました。ありがとございました。傍聴して下さった皆さん、テレビを見て下さった皆さん、ありがとうございました。

支援費制度の充実

大きく報じられた答弁

七月一日の『山陽新聞』岡山市議会の記事についての四段抜きの見出しは、「障害者支援費制度の充実へ ケアマネジメント増員 市議会でも市側答弁」でした。

前日質問した五人のうち稲葉泰子議員への答弁を記事の始めに紹介し、市側が障害者の福祉サービス選択を助言するケアマネジメントにあたる職員を増員する方針を示したことに注目しています。続いて、質疑応答を比較的詳しく報じています。

なお稲葉さんの質問は、この他に自衛隊と防災訓練(2面に記事)、小規模作業所、公民館、その他と続きますが、紙面の都合で次号に紹介することにします。